

「第2回 多摩エリアのまちづくりに関する学生アイデアピッチコンテスト」 最終選考会で発表しました。

人間関係学部人間福祉学科2年生が「ソーシャルワーク実践入門」の成果として、京王電鉄・UR都市機構主催(協力:多摩市・八王子市・稲城市・日野市)コンテストに応募し、4チームが11月18日京王聖蹟桜ヶ丘アウラホールで開催された10チームによる最終選考会(応募31チーム)で発表しました。

チーム Symbiosis 「リスクヘッジマップ」

チーム Enjoy! リコジャム 「緑豊かなオープンカフェ」

チーム多摩市近郊+1 「日本一の地域共生社会を目指して」

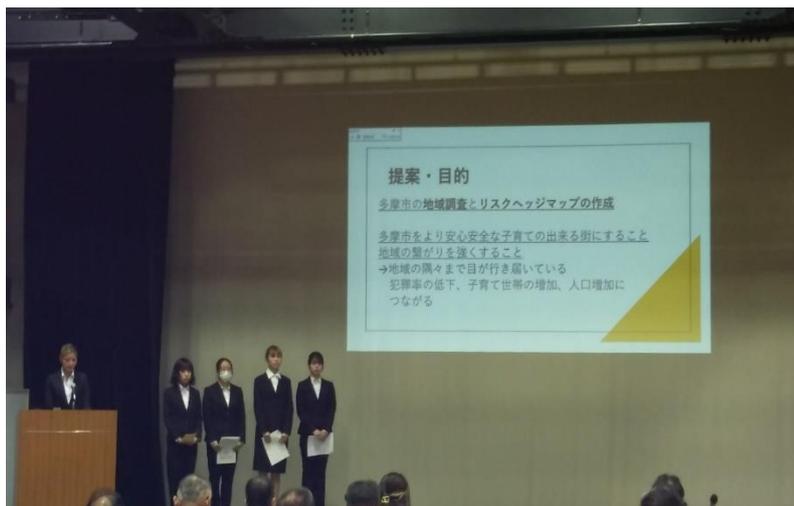
チーム Nexus 「多摩市共生社会」

上記4チームが「誰かに自慢したくなるまち」という募集テーマに、福祉学科での学びを活かし発表しました。

上位入賞は果たせませんでした。次年度も「第3回まちづくりアイデアピッチ」に参加し、上位入賞を目指します。



大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 最終選考会 4チーム



チーム「Symbiosis」

「リスクヘッジマップの取り組みについて、アイデア出しからプレゼンまで、私たち自身で作ってきました。それを、このような場で様々な人に聞いていただけたことを嬉しく思います。私たちのアイデアの実現可能性に胸が踊る、貴重な機会でした。」

(チーム代表：笹野美羽さん)



チーム「Enjoy! リコジャム」

「私たちは緑豊かなオープンカフェを提案しましたが、大学生ならではの提案ができたと思います。

このような貴重な機会があったことで、より多摩市のことを様々な視点から見る事が出来ました。

また、他のチームの発表も聞くことで私たち自身の視野も更に広がったように感じます。

とても良い経験となりました。」

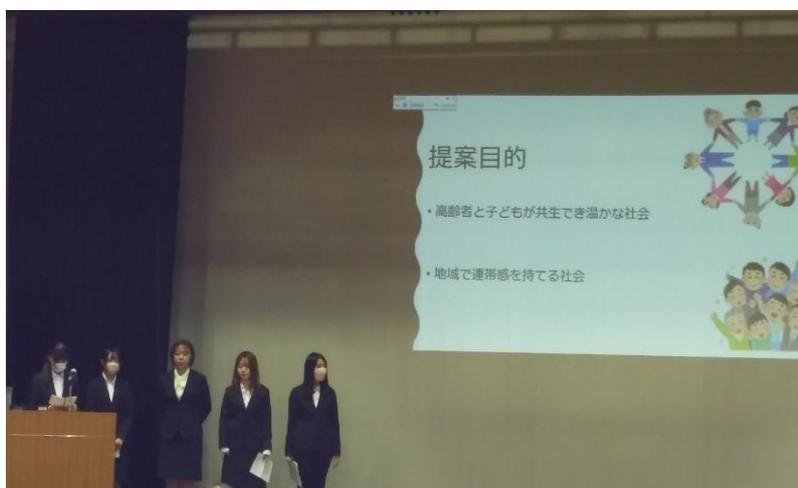
(チーム代表：近藤杏奈さん)



チーム「多摩市+1」

「私たちは高齢者の居場所づくりを目的としたDカフェの設置を提案しました。この提案を考える中で私たちにはなにができるのかということに焦点を当てて考え、発表を行いました。審査員の方の意見を聞き、自分たちの提案の改善点などを知ることができ、非常に勉強になりました。このような機会を頂きありがとうございました。」

(チーム代表：山崎りのあさん)



チーム「Nexus」

「グループ全員多摩市民ではないですが、大妻女子大学が多摩にキャンパスがあることによって多摩市の魅力を発見出来て良かったです。また、課題や今後どうするべきかなど様々なことを考え、学ぶ機会が出来ていい経験になりました。」

(チーム代表：木俣優菜さん)



多摩エリアのまちづくりに関する学生アイデアピッチコンテスト 最終選考会全 10 チーム